

**平成 22 年度
第 168 回生存圏シンポジウム
－ RISH 電波科学計算機実験 (KDK) シンポジウム －
プログラム**

日時： 平成 23 年 3 月 7 日、8 日

場所： 京都大学 宇治キャンパス 宇治おうばくプラザ

7 日（口頭発表）： セミナー室 1, 2（1F）

8 日（ポスター発表）： ハイブリッドスペース（2F）

宇治キャンパスマップ

<http://www.uji.kyoto-u.ac.jp/campus/map.pdf>

宇治おうばくプラザ館内図

<http://www.uji.kyoto-u.ac.jp/campus/facilities.html>

主催： 京都大学 生存圏研究所

電波科学計算機実験専門委員会

3 月 7 日（口頭発表）

13:30 – 13:35 はじめに

[座長：海老原]

13:35 – 13:55 Dynamics of particle entries within the cusp

蔡 東生（筑波大学システム情報工学研究科）

13:55 – 14:15 スクラムジェット駆動実用規模 MHD 発電機の 3 次元動作解析

石川 本雄（筑波大学システム情報工学研究科）

14:15 – 14:35 高速磁気再結合過程の三次元不安定性と地球磁気圏への応用

清水 徹（愛媛大学宇宙進化研究センター）

14:35 – 14:55 シヤ磁場環境におけるプラズモイドの三次元磁気流体計算

近藤 光志（愛媛大学宇宙進化研究センター）

（休憩）

[座長：海老原]

15:05 – 15:25 低マッハ数衝撃波における相対論的衝撃波ドリフト加速

松清 修一（九州大学総合理工学研究院）

15:25 – 15:45 イオンビーム起源の運動論的アルフェン波と大振幅アルフェン波の急激な減衰について

成行 泰裕（高知工業高等専門学校）

15:45 – 16:05 ハイブリッド法を用いたミニ磁気圏シミュレーション

中村 雅夫（大阪府立大学）

（休憩）

[座長：疋島]

16:15 – 16:35 AMR-PIC コードの高効率並列計算手法

藤本 桂三（理化学研究所）

16:35 – 16:55 地球磁気圏における EMIC トリガード放射の研究

小路 真史（京都大学）

16:55 – 17:15 STE 研新スーパーコンピュータシステムの紹介と初期性能評価

梅田 隆行（名古屋大学太陽地球環境研究所）

3月8日 10:00 -12:00 (ポスター発表)

ボードの大きさは 120cm (高さ) × 90cm (横)

- (1) 太陽におけるジェット現象のモデリング
西田 圭佑
- (2) 磁気セイルにおける小型磁気圏-太陽風相互作用
森高 外征雄
- (3) 数値シミュレーションを用いた磁気プラズマセイルの推力評価
梶村 好宏
- (4) 粒子シミュレーションによる磁気セイルの推力検討
芦田 康将
- (5) 動的領域分割を用いたプラズマ電磁粒子コードのプロセス並列手法の開発
八木 耀平
- (6) 宇宙プラズマ環境における電界アンテナ特性に関する計算機実験
三宅 洋平
- (7) VLF トリガード放射の生成に関する計算機実験
疋島 充
- (8) コーラス放射生成過程のシミュレーション結果を用いた WPIA 解析手法の検討
北原 理弘
- (9) 電波伝搬周波数依存性を利用した Es 層の空間構造推定に関する FDTD シミュレーション
三宅 壮聡
- (10) グローバルな電子密度モデルを用いた GPS の電離層遅延補正法の改良
清水 隆浩
- (11) 熱帯上部対流圏における広域雲分布
西 憲敬
- (12) 木-補木ゲージに基づく有限要素磁界解析のための並列折畳み前処理
美船 健